

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-100	中学校	社 会	公 民	3年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
116 日文	公民 933	中学社会 公民的分野		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法ならびに学校教育法の趣旨をふまえるとともに、中学校学習指導要領第1章 総則および第2章第2節社会〔公民的分野〕に示された趣旨や目標、内容について、生徒たちが、公民的分野の学習を意欲的に進め、学習内容を確実に身につけられることをめざして編修しました。

また、公民的資質の基礎を養うために、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育てることができる教材を選定しました。教材の選定にあたっては、知識基盤社会やグローバル化の進展等に対応するよう留意するとともに、我が国の伝統と文化に対する関心と理解を深められるようにしました。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、特に次の点に意を用いて編修しました。

- ① 中学校学習指導要領に準拠し、現代の社会事象に対する関心を高めて、基礎的・基本的な知識、概念や技能を着実に習得するために、思考力・判断力・表現力等を育む言語活動の充実を図り、多面的・多角的に考察し、自ら考え判断し行動できる資質や能力を高める学習が展開できるようにする。また、持続可能な社会など、日本と世界の将来について考えさせる内容を充実させ、幅広い学習活動に生かされる教材を設けるようにする。
- ② 教科書全体の構成、各編章、毎時間の見開きページに、生徒自らが学習の見通しを立て、学習した内容を活用できる問いかけを設け、思考力・判断力・表現力の向上を図る。また、自己の学習の成果を確かめ、生徒の生活や既習の知識を活用するなどして、公民の学習の意義を実感できるように配慮する。さらに、学習内容が職業を含む将来の生徒の生活においてどのように社会に資するののかという面を踏まえて、紙面全体を構成する。
- ③ 現代社会に即して、社会の形成に参画するための学習活動を充実するとともに、協働して取り組む学習活動の場面では、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身につけ、社会の一員としての自覚を培えるようにする。
- ④ 人権・平和・環境、防災や減災について考えさせることができる記述を随所に配するとともに、地理・歴史的分野との連携を重視した編修をこころがけ、生命や自然を大切に育てる態度を育てることができるようにする。
- ⑤ 我が国の伝統と文化の特色を広い視野から捉え、自分達の住む身近な地域や我が国を愛する心を養えるようにする。また、国際理解を深める内容を豊富に取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てるようにする。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民との出会い」では、夜の地球の衛星写真と、火をモチーフにした写真を掲載し、持続可能な社会への関心を高めるようにしました。地理と歴史の学習を踏まえて、公民の学習を行う視点も示唆しています。(第1号～第5号) 	P. 2 ～ 3
	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の現代史年表」「現代の世界のようす」では、地理や歴史の学習成果をふり返りつつ、公民の学習との関連を示唆しています。(第1号) 	P. 4 ～ 7
	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民を学ぶにあたって」では、公民とは、人と関わり合いながら社会で生きていくことであることを明らかにし、人類が積み重ねてきた知識と知恵を学ぶ公民の学習意欲を高めることができるようにしました。(第1～5号) 	P. 12
第1編 私たちと現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会ナビ」では、第1編で鍵となる少子高齢化等の概念や知識を楽しく学び合い、自分の言葉で表現できるようにしました。また、新聞紙面を通して現代社会の動きを学ぶことで、各編の学習内容を俯瞰し、学習の見通しが立つように工夫しました。(第1号～第3号) 	P. 2～3
	<ul style="list-style-type: none"> ・より広い視野をもって現代社会をとらえるために、地球規模で起こる工業社会から情報社会への移行をテーマとした特設ページ「公民ズームイン 持続可能な社会」を設けました。また、防災・減災がテーマの内容を、持続可能な社会の具体例として設け、現代社会を特徴づける一つの課題としました。(第1号, 第4号, 第5号) 	P. 10～11
	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い等の基盤の一つとなる統計情報の読み取りと活用を行う特設ページ「情報スキルアップ」を設けました。(第1号) 	P. 12～13
	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国と諸外国の文化の相互の深い関わりや、特色ある日本の伝統と文化が、現代社会で生きていることを理解し、我が国や郷土を愛する心情を育てられるよう配慮しました。また、グローバル化社会における、世界の多様な文化の学習を通して、多文化共生社会の重要性を認識し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。(第5号) 	P. 14～21
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的存在である人間を基礎に置いて、きまりや現代社会の見方や考え方の学習が具体的になるように編修しました。個人と社会の関係を学ぶことで、身近な場面から問題を見出し、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養い、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成を図れるよう配慮しました。(第2号) 	P. 22～29
第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・「政治ナビ」では、第2編で鍵となる個人の尊厳や公正などの概念や知識を楽しく学び合い、自分の言葉 	P. 32～33

	<p>で表現できるようにしました。また、憲法や政治の動きを新聞紙面を通して学ぶことで第2編の学習内容を俯瞰し、学習の見通しが立つように工夫しました。(第1号～第3号)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 政治の必要性と法の支配の学習を基礎として、立憲主義に基づく日本国憲法の学習では、歴史的な人権の成立過程の記述を手厚くしました。身近な場面から問題を見出し、人権の尊重とその問題を具体的、現実的に捉えさせることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成を図ることができるよう配慮しました。また、社会には人間の尊厳に関わる苦しい状況に置かれる人々が多くいることに気付き、生命と個人の尊重を深く考えることができるよう配慮しました。(第3号, 第4号) 	P. 34～67
	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルについて理解を深める特設ページ「情報スキルアップ」を設けました。(第1号) 	P. 60～61
	<ul style="list-style-type: none"> 「バリアフリー」「未成年ときまり」をテーマに、社会参画の手がかりを示した特設ページ「明日に向かって」を設けました。(第3号) 	P. 50～51 P. 66～67
	<ul style="list-style-type: none"> 「表現の自由」をテーマとして、「現代社会の見方や考え方の基礎」を重点的に学習し、ブレインストーミングやツールミンモデルの手法を用いて、生徒が自ら問題を解決する学習ができる特設ページ「チャレンジ公民」を設けました。(第1号, 第3号) 	P. 72～73
第2編 私たちの生活と政治 第2章 国民権と日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> 立憲主義に基づく権力分立を基礎として、国民権から導かれる選挙や投票に関する内容を、身近な事例に引き寄せてくわしく解説しました。また、社会の変化による、ボランティアやNPOの役割の増大や、法による正義を実現する司法の役割を取り上げることで、主体的に社会の形成に参加し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。(第1号, 第3号) 	P. 76～85 P. 96～115
	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある日本の各地域の地方公共団体の取り組みを、多面的、多角的に紹介しました。地方自治を自らの問題として、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにするとともに、我が国や郷土を愛する心情を育てることができるよう配慮しました。(第3号, 第5号) 	P. 86～95
	<ul style="list-style-type: none"> マスメディアへの理解を深める特設ページ「情報スキルアップ」を設けました。(第1号) 	P. 84～85
	<ul style="list-style-type: none"> 「地方自治体の調査と見学」「裁判員制度」をテーマに、社会参画の手がかりを示した特設ページ「明日に向かって」を設けました。(第3号) 	P. 94～95 P. 112～113
	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災時の自助、共助、公助をテーマとした特設ページ「公民ズームイン 大災害に強い暮らしをきずく」を設けました。(第1号, 第4号, 第5号) 	P. 104～105

	<ul style="list-style-type: none"> ・「一票の格差」をテーマとして、「現代社会の見方や考え方の基礎」を重点的に学習し、ディベートの手法を用いて、生徒が自ら問題を解決する学習ができる特設ページ「チャレンジ公民」を設けました。(第1号, 第3号) 	P. 116～117
第3編 私たちの生活と経済	<ul style="list-style-type: none"> ・「経済ナビ」では、第3編で鍵となる希少性や効率と公正の概念や知識を楽しく学び合い、自分の言葉で表現できるようにしました。また、経済の動きを新聞紙面を通して学ぶことで第3編の学習内容を俯瞰し、学習内容の見通しが立つように工夫しました。(第1号～第3号) 	P. 120～121
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、生徒が様々な場面で経済と関わることを想定し、消費、生産、金融、財政の単元の基礎的な知識を通して、社会生活における自己実現や社会貢献を考えられるようにしました。また、労働の問題を自らの問題として考え、勤労を重んずる態度を養うことができる具体的な事例や学習を用意しました。(第1号～第3号) 	P. 122～171
	<ul style="list-style-type: none"> ・「職業紹介」「金融」「年金」をテーマに、社会参画の手がかりを示した特設ページ「明日に向かって」を設けました。(第3号) 	P. 148～149 P. 156～157 P. 168～169
	<ul style="list-style-type: none"> ・「消費税」をテーマとして、「現代社会の見方や考え方の基礎」を重点的に学習し、議論の手法を用いて、生徒が自ら問題を解決する学習ができる特設ページ「チャレンジ公民」を設けました。(第1号, 第3号) 	P. 172～173
第4編 私たちと国際社会	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際ナビ」では、第3編で鍵となる国家主権や内政不干渉の概念や知識を楽しく学び合い、自分の言葉で表現できるようにしました。また、国際社会の動きを新聞紙面を通して学ぶことで第4編の学習内容を俯瞰し、学習の見通しが立つように工夫しました。(第1号～第3号) 	P. 176～177
	<ul style="list-style-type: none"> ・主権や領土に関する学習を充実させ、国連等の国際機関や政治、経済、文化、環境の問題を幅広く取り上げることで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号, 第3号) 	P. 178～201
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地球温暖化」をテーマとして、「現代社会の見方や考え方の基礎」を重点的に学習し、ロールプレイの手法を用いて、生徒が自ら問題を解決する学習ができる特設ページ「チャレンジ公民」を設けました。(第1号, 第3号) 	P. 202～203
第5編 私たちの課題 -持続可能な社会をめざして-	<ul style="list-style-type: none"> ・公民の学習の最後に行うレポートの作成では、具体的なテーマと作成手順を提示し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。(第3号) 	P. 206～216
巻末	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民を学んで」では、人間の営みの集積である公民の学習内容を生かして、平和で民主的な社会の形成者として、生徒一人一人が自覚できるようにしました。(第1～5号) 	P. 217

	<ul style="list-style-type: none"> ・「法令集」では、教科書に出る法令を掲載し、憲法では用語解説を付して、学習をサポートしました。「用語解説」「類似用語集」では、公民の学習を進める際に役立つ用語について解説しました。(第1号) 	P. 218～245
	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生の社会参画」をテーマとして、社会参画へと我が国と郷土を愛することへの手がかりを示した特設ページ「明日に向かって」を設けました。(第3号, 第5号) 	P. 13
	<ul style="list-style-type: none"> ・「残していきたい日本の風景」では、世界遺産を含む日本の景観を紹介しました。(第5号) 	P. 14～15
教科書全体	<ul style="list-style-type: none"> ・公民の最初の問い「現代社会はどんな社会だろうか？」を置いて、地理と歴史の学習の総括と、公民の学習への関心や意欲をもたせるようにしました。公民の学習を踏まえた第5編のレポート単元では、公民の最後の問い「これからの社会をどんな社会にしたい？」を置いて、生徒が公民の学習を通して成長を実感し、将来に向かって社会参画する態度を養うことができるようになることを、教科書全体を貫く方針としました。(第1号～第5号) ・公民的なものの見方を多面的・多角的に思考し、判断できる内容を取り扱うように努めました。本文の記述は、詳細な事項にこだわることなく、大局的な観点からの記述を工夫し、主張の対立する項目には両論の併記や、歴史や地理との関連を適宜示唆するなど、一面的な捉え方にならず、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第1号～第3号) ・公民の学習の随所で、具体的な事例から、持続可能な社会について考え、行動していく態度を養うことができました。また、平和主義、環境問題といった日本の特長を世界で生かしていける事例を紹介し、将来に向けて国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号～第5号) 	全単元

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

【特別支援教育・カラーユニバーサルデザイン、防災・安全教育への配慮】

特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの観点で専門家の校閲を受け、ルビはすべて読みやすいゴシック体にするほか、図版中の配色や体裁にいたるまで、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面にしました。また、防災・安全教育に関する教材は、専門家に校閲いただいています。

【環境などへの配慮】

環境などへの影響が少ない植物性インキと再生紙を使用しています。本文用紙は、光沢をやわらげて目に優しく、大判化に伴う重量増をおさえる軽い紙を採用しました。

編 修 趣 意 書

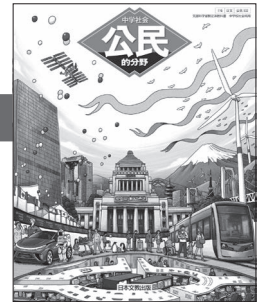
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-100	中学校	社 会	公 民	3年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
116 日文	公民 933	中学社会 公民的分野		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I 編修の基本方針

人権・環境・平和といった普遍的な価値を基礎として、現代社会の諸問題に対して公正に判断することができるよう、公民的資質の基礎を養い、生徒が公民の学習を通して自らの成長を実感し、将来に希望をもって社会で生かしていくことができる内容をめざしました。



- 1 公民的分野の基礎的・基本的な学力の定着と活用ができる教科書
- 2 現代の諸課題に対応する思考力・判断力・表現力を養う学習を重視した教科書
- 3 持続可能な社会を築くために主体的に社会に参画する意欲を育む教科書
- 4 学ぶ楽しさと、伝統・文化に対する関心と理解を深める教科書

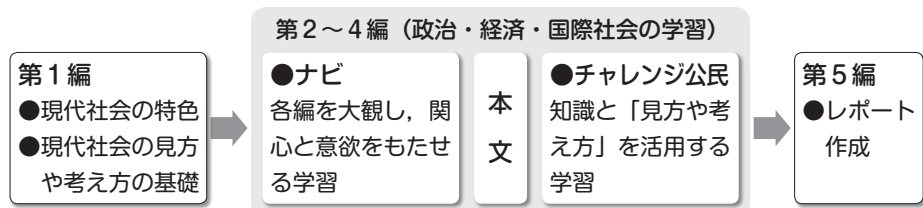
II 編修上の留意点と特色

1 構成上の特色

学習内容を広い視野から捉え、活用を支援する構成にしています

●関心・意欲から習得と活用までを見通した各編・章の基本構成

各編冒頭に、各編のポイントを親しみやすいイラストと新聞記事で考える「ナビ」を置き、編の学習内容を広い視野から大きく捉え、かつ関心と意欲がもてるようにしました。各編・章末「チャレンジ公民」では、習得した知識と「対立と合意」「効率と公正」等の「見方や考え方」を活用する課題を設けました。また、ここで学んだ考え方やまとめ方のスキルは、最終第5編のレポート作成に役立つように設けています。こうした知識の活用を支援する教科書で学習することにより、学習指導要領のねらいに沿った学力を得ることができるようにしています。



現代社会について、生徒が考え、判断し、表現する学習を重視しています

- ① 読み取ろう
② 考えよう
③ 伝えよう



●「対立」と「合意」、「効率」と「公正」など、「現代社会の見方や考え方の基礎」を理解し、政治・経済・国際の学習で繰り返し吟味できるように、生徒が学習内容を活用しながら、自ら考え、判断し、自分の言葉での表現を促すための問題解決的な学習活動を適宜配置しました。

毎時間

・学習の確認と活用 毎時間の終わりに、学習課題の確認とともに、身近で、現実の問題についての社会的事象の意味・意義を解釈したり、事象間の関連を説明させるような問いを示しています。

適宜

- ①言語活動コーナー 図版の内容を読み取ったり、読み取ったことをもとに思考・判断・表現したりする活動を示しています。
②アクティビティ 授業で取り組むことができる具体的な作業学習をもとに思考・判断・表現する活動を示しています。
③賛成・反対 対立する意見を示し、多面的・多角的な見方や考え方を学ぶことができる活動を示しています。

編・章末 ・チャレンジ公民（この資料のP.6参照）

2 内容上の特色

社会参画など、生徒が将来に生かせる教材を用意しています



●生徒の将来の生活につながるような内容を取り上げ、学習への関心や意欲を高め、知識の定着につながるように配慮しました。

・社会参画・貢献の手がかりとなる特設ページ①「明日に向かって」の提示
バリアフリーの社会をめざしてP.50～51, 15歳は「子ども」?それとも「大人」? P.66～67, 環境保全への取り組みP.94～95, 裁判員裁判シミュレーションP.112～113, 15歳のハローワークP.148～149, 金融スキルアップP.156～157, 年金シミュレーションP.168～169 など

※この他本文でも同趣旨の内容を提示しています。消費者主権の行使 (P.125), NPO職員 (P.148), 社会貢献型債券 (P.157), ボランティア活動をしよう (P.167) など

・国際社会への貢献に関する日本の特長を紹介するコラム②「日本が世界に提供できる価値」の提示

日本の平和主義 (P.71), 日本の環境対策 (P.171), 人間の安全保障 (P.201)

・社会科ならではの情報に関する知識や技能について、生徒が取り組みやすい作業を交えて構成する特設ページ③「情報スキルアップ」の提示

①統計とグラフを使いこなそう! (P.12～13)

②「ネット社会」とつき合う方法 (P.60～61)

③情報の読み方と伝え方を学ぼう! (P.84～85)

・法と金融に関する学習の教材は多面的・多角的な視野を養えるように、基礎的内容から応用的な内容までを提示しています。

法に関する学習…きまりの意義 (P.23), 法の支配 (P.37), 立憲主義 (P.37), 裁判員制度 (P.110～113), 契約 (P.123) など

金融に関する学習…お金を借りるということ (P.127), 金融の意義 (P.150～151), 為替相場 (P.154), 金融スキルアップ (金利, 株式) (P.156～157) など

●今日の課題を考えることができる豊かな教材

従来にも増して、人権・環境・平和を重視した教材を用意しました。また、現代の重要な課題である防災・減災と、地域やわが国の伝統と文化について多様な魅力を紹介する教材も充実させました。

主な観点	主な内容
人権	バリアフリー社会 (P.50～51), ハンセン病 (P.57), 児童の権利条約 (P.63), えん罪と再審 (P.109), 少年事件で名前が報道されないのはなぜ? (P.111), なぜ被告人の弁護をするのか? (P.113), 女性と労働 (P.146), ワーキングプア (P.147), 人間の安全保障 (P.201), 世界の貧困問題の解決 (P.209) など
環境, エネルギー・資源	公民との出会い (P.2～3), 持続可能な社会 (P.10～11), 京都の景観とまちづくり (P.65), 環境保全への取り組み (P.94～95), 日本の環境対策 (P.171), 資源・エネルギー問題 (P.194～195), 地球環境のためにできること (P.197), 生物多様性 (P.197), 日本のエネルギー問題 (P.208) など
平和・命の尊さ	日本国憲法の平和主義 (P.68～69), 沖縄と基地問題 (P.71), 日本の平和主義 (P.71), 現代の戦争の問題 (P.187), 平和への誓い (P.188), 日本の平和主義と国際貢献 (P.190～191), 変わる国連のはたらき (P.207) など
防災・減災	大災害への取り組み (P.11), 大災害に強いくらしをきずく (P.104～105), 日本の防災協力 (P.201), 災害にそなえるには (P.211) など
伝統と文化	日本の伝統と文化の特徴と多様性 (P.16～17), 受けつぎ, 創造する日本の伝統・文化 (P.18～19), 四国八十八ヶ所めぐり (P.21), 現代社会の政治と文化・宗教 (P.184～185), 残していきたい日本の風景 (P.14～15) など

●「中学校学習指導要領解説 社会編」の一部改訂に対応した教材の充実

「日本の領土をめぐる問題」(P.179)を充実し、「固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていること」,「固有の領土である尖閣諸島」に「解決すべき領有権の問題は存在していないこと」などを明確に記述しています。写真と地図で、北方領土、竹島、尖閣諸島を紹介し、我が国の領域を明確に読み取れるようにしています。

地理的分野と歴史的分野との連携を重視しています



●地理的分野と歴史的分野との連携を重視

- ・日本の現代史年表, 世界地図と世界の現代史年表を巻頭に設け, 地理と歴史の成果をふり返り, 公民の学習を始められるようにしています。
- ・公民タイムトラベルでは, 現代の政治や経済などに影響をもつ歴史事象を取り上げ, 公民の学習の理解を深められるようにしています。
- ・連携コーナー [] を, 本文左ページの脚注に設けて, 地理的分野・歴史的分野や小学校への関連をわかりやすく示しました。

●広い視野から多面的・多角的に現代社会をみるための教材の提示

公民との出会い (P.2～3), 「持続可能な社会」(P.10～11) など, 地理や歴史の学習を踏まえつつ, 「持続可能な社会」, 「工業社会」から「情報社会」への移行に関する教材を提示しました。

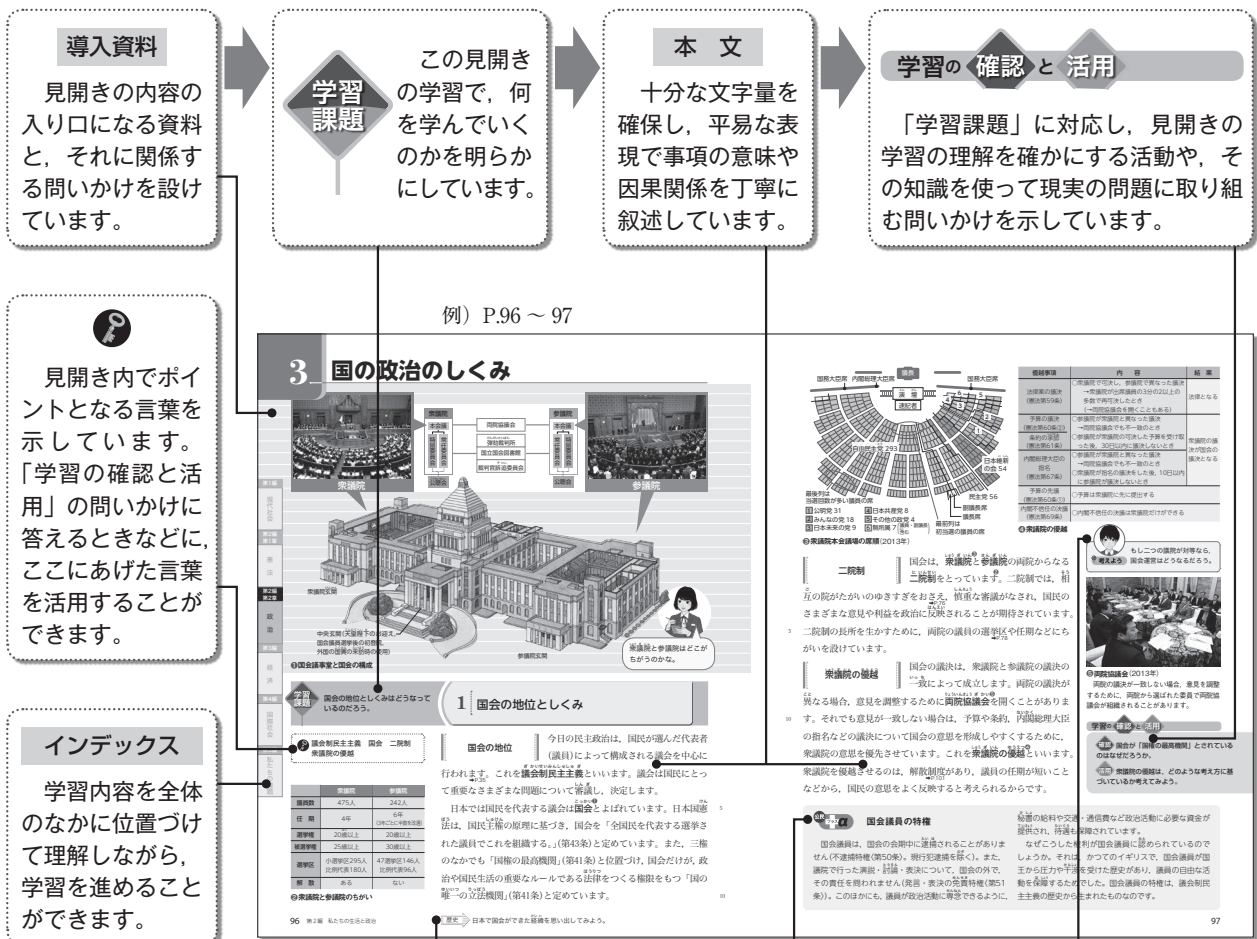
基礎・基本の確実な定着を考えて、生徒の学習を支えるように紙面を工夫しています

●「授業」や「生徒の思考」の流れを重視した本文見開きの紙面構成

本文は1授業時間＝見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのかを「学習課題」で明確に示しました。右ページの側注欄には、「学習の確認と活用」を設け、学習のポイントの確実な定着を企図した学習活動やその知識を用いて現実の問題に取り組む問いかけを提示しました。

また、思考力・判断力・表現力を培う「言語活動コーナー」、アクティビティなどを適宜配しています。

さらに、本文には、関連する図版番号を付して、本文と図版資料との関連をいっそう明確にした紙面構成にしました。



連携コーナー

地理・歴史や小学校の知識を活用し、公民の学習内容について多面的・多角的な理解ができる問いを設けています。
例)地理：地図を見て、地域統合と構成する国々を確認しよう。
歴史：江戸時代のききんのときの米の価格について、需要と供給の関係から説明しよう。

公民 プラス α

見開きページの学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができるコラムです。
(一覧はP.11)

アクティビティ

学習への理解を深める、授業で取り組むことができる具体的な作業学習を提示しています。
(一覧はP.11)

言語活動コーナー

読み取る
考えよう
伝えよう

図版の内容を読み取ったり、読み取ったことをもとに思考・判断・表現したりする活動を示しています。

楽しい学びと知識
の定着をはかる多
彩な図版を掲載し
ています

●大判紙面を生かしたビジュアルで、多彩な図版による、楽しい学びと知識の定着

・抽象的な社会のしくみを具体的にイメージできる図版を豊富に掲載

<憲法・政治>人の支配から法の支配へ (P.36), 人権思想のあゆみ (P.44~45), 点字 (P.50), 選挙の投票ってどうするの? (P.78), 国会の一年 (P.98), 内閣が成立するまで (P.100)

<経済>あなたも契約をしている (P.123), 海外旅行のパンフレット (P.130), さまざまな生産活動 (P.132), 為替相場の影響 (P.154)

年金シミュレーション (P.169), (消費税の) 意見を整理した結果 (P.172)

<国際社会>日本の領域と排他的経済水域 (P.179)

・新しい事例の積極的な紹介

iPS細胞 (P.14), 2020年東京オリンピック (P.15), 四国八十八ヶ所 (P.21), 消費税増税 (P.29, 172~173), 待機児童 (P.87), ビッグデータ (P.129), 3Dプリンター (P.133), TPP (P.139), 貿易と投資の収支 (P.155), 水俣条約 (P.171), マララ・ユスフザイさん (P.200), 富岡製糸場 (P.16)

・生徒に身近で話題性のある事例の掲載

日本人サッカー選手 (P.8), 世界のハンバーガー (P.9), 受験の絵馬 (P.15), インスタントのうどん (P.17), ネット関連記事 (P.61), ゆるキャラ (P.87), ワーキングプア (P.147), 給与明細 (P.165), 大気汚染 (P.197)

●「用語集」「類似用語集」等の学習を支援するページの設置

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
公民との出会い ※「公民を学ぶにあたって」含む	(1) ~ (4)	P.2~3	1
第1編 私たちと現代社会	(1) アイ	P.1~30	11
1 私たちが生きる現代社会の特色 ※「現代社会ナビ」含む	(1) ア	P.2~13	(4)
2 現代社会の文化と私たち	(1) ア	P.14~21	(3)
3 現代社会をとらえる見方や考え方	(1) イ	P.22~30	(4)
第2編 私たちの生活と政治	(3) アイ	P.31~118	32
第1章 個人の尊重と日本国憲法	(3) ア, (4) ア	P.32~74	(16)
1 法に基づく政治と日本国憲法 ※「政治ナビ」含む	(3) ア	P.32~43	(5)
2 日本国憲法と基本的人権	(3) ア	P.44~67	(9)
3 日本の平和主義	(3) ア, (4) ア	P.68~74	(2)
第2章 国民主権と日本の政治	(3) イ	P.75~118	(16)
1 民主政治と政治参加	(3) イ	P.76~85	(4)
2 暮らしを支える地方自治	(3) イ	P.86~95	(4)
3 国の政治のしくみ	(3) イ	P.96~118	(8)
第3編 私たちの生活と経済	(2) アイ	P.119~174	22
1 消費生活と経済のしくみ ※「経済ナビ」含む	(2) アイ	P.120~131	(6)
2 生産の場としての企業	(2) ア	P.132~149	(7)
3 金融のしくみとお金の価値	(2) ア	P.150~157	(3)
4 財政と国民の福祉	(2) イ	P.158~174	(6)
第4編 現代の国際社会	(4) ア	P.175~204	13
1 国家と国際社会 ※「国際社会ナビ」含む	(4) ア	P.176~185	(5)
2 国際社会の課題と私たちの取り組み	(4) ア	P.186~204	(8)
第5編 私たちの課題 —持続可能な社会をめざして— ※「公民を学んで」含む	(4) イ	P.205~217	11
	(予備時間:10時間)	合計	90

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

※「チャレンジ公民」(4時間配当)は、この予備時間を利用して実施することを想定しています。